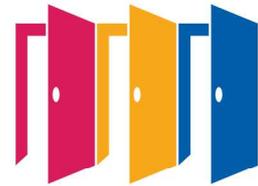


# Weekly Report



## 名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日13:00～14:00	会 長	青木恭子
例会場	ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹 事	荒山久美
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	藤谷 猛



ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度名古屋アイリスRCのテーマ

柔軟性を尊重し活気と充実のアイリスに

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

### 第368回 例会

2021年6月30日 13:00～

- 司 会 島村恵三 例会・出席・親睦委員長
- 斉 唱 手に手つないで
- 出席報告 出席者数 12名 / 28名  
出席率 42.85%
- ゲ ス ト
- ビジター

### ニコボックス

- 青木恭子 会長  
交通事故にあった将来のある子供たちの事を悼みます。今日で会長が終わりです。昨夜は眠れませんでした。
- 荒山久美 幹事  
青木会長、一年間お疲れ様でした。
- 岩崎幸弘 直前会長  
青木会長、荒山幹事、AAコンビお疲れ様です。
- 安井忠 会員増強、戦略委員長  
青木会長、荒山幹事、大変お疲れ様でした。半分しか出来なかったのもう1回チャレンジして下さい。
- 島村恵三 例会運営委員長  
青木会長、荒山幹事、一年間お疲れ様でした。
- 澤田直美例 例会運営委員  
青木会長、荒山幹事、一年間ありがとうございました。

### 会長挨拶



会長としての様々な責務を果たせないままにこの年度を終わらせていただくことになり、まずはごめんなさいという思いです。この思いがけない世界情勢に人々はそれぞれの立場のあらゆる分野において全うすることなく、意に反して終わらせ

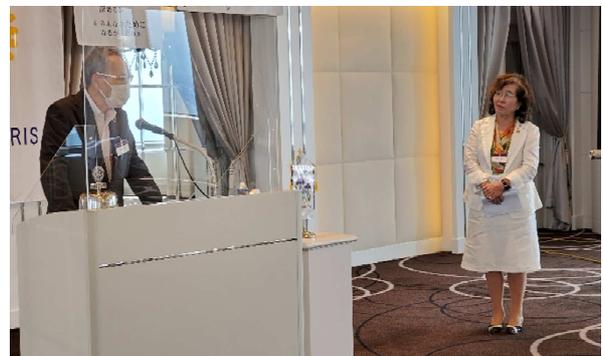
なければならず、ましてや命がけとも言えるコロナウィルスとの戦いで無念にも生きることさえ閉ざされてしまった人々もいて、平和だった70余年の日本人たちにとって右往左往する中にあります。

このような中でロータリークラブはどんな存在に位置しているのだったのでしょうか？従来から決められたことを進めるのか、中止するのも対応が困難でした。世

界の有事にあたっても積極的に対応を変えていくという事は見られませんでした。なぜなら「終わり」がまだ来ていないからです。今の対応で良いだろうと、政治経済、教育、健康対策、子育てなど、全て対処できて終わるものとしてきた結果、まだまだこの混乱が続いていく予想の中、奉仕を目指すロータリーの存続とモットーはどう進んでいくのでしょうか？人間も変わり経済、会社、医療、教育。そしてその中で奉仕とは？と問われます。

アイリスロータリークラブは話し合う事の機会が多く、会員の親睦は例会を行うことによって別に特別な親睦会をすることなく深まって参りました事は、唯一この非常事態の中に在って望ましき方向を得たといえることです。

幹事ははじめ理事の皆様が一丸となって同じ方向に向かって話し合い、互いにリスペクトし、思えば大変貴重な年度であったと思うに至っております。幹事の荒山さん、私を運んでいただき感謝致します。理事の皆様、会員の皆様、このクラブを運営していただきありがとうございました。感謝申し上げます。



青木会長のご提案で本日出席した会員から一言ずつお言葉をいただき、最後まで青木年度は柔らかで穏やかな空気が流れる例会となりました。

### 幹事報告



ご存じの通り私は元々大雑把な性格です。そんなことで、一年を振り返って見ますと、何回も例会の開催を控えさせていただき、また地区からの呼び出しも何回「無理です！嫌です！」とお断りしたか数えきれません。コロナウィルスの影響をもちに受けて

しまった今年度ということでお許しを頂けますと幸いに存じます。

青木さんに会長をお願いした「一押し」の理由は、お顔が広いことと何かの集まりがあると青木会長に来てい

ただだけで周囲にパッと花が咲いたようになり、また女性会員比率の高いアイリスの顔として「余人をもって代えがたい」、そんな人と考えたからでした。幹事は英語では「セクレタリー」となり、幹事になる以前から青木会長とは会合と一緒に参加させていただいたのですが、青木会長のほんわかとする空気を感じとっていただけたのかお会いする人お会いする人が「アイリス、愉しそうだな」と思っていただけで、これが会員の増強につながればよいと願っておりました。アイリスは歴史も浅くないへんこちゃんまりとしたクラブですがその分女性が参加しやすく、また歴代の ANA ホテル社長様からの後方支援もいただけ「美味しいクラブランチが食べられる」として定着したらうれいしと願っておりました。ゲストの皆様が最初に口にされる言葉が「美味しいお料理ですね」です。歴史の長いクラブ独特の伝統的雰囲気、威厳とは一線を画すことで、「女が・・・」というような威圧的な雰囲気のない、いつも和気藹々、ふわふわ感がある、こんな形でアイリスのイメージが向上すれば、安定した会員組織に役立ち運営の安定したクラブになれるものと期待しておりました。

しかしながら、この期待の多くがコロナウイルスという未知の侵入者の前に崩れ去ってしまいました。会長をお連れしようと思っていた会合はことごとく中止に追い込まれ、幹事としては、基礎疾患と心臓にペースメーカーを入れておられる会長には参加をお願いするどころか、「(健康第一)行かなくていいですよ」を連発して時には会長代理で参加し行く先々で「三密防止の励行」を唱え、結果、食事せず帰ってくる態度の悪いアイリスの幹事となったように思います。

今年度のアイリスは最初から「会員の健康維持」と「ビジネスファースト」、「奉仕は安全の範囲で」と考え運営してまいりました。結果的に一番ご迷惑をかけたのはここ ANA ホテルになってしまいました。コロナウイルスのせいとはいえ度重なる例会中止、予定変更で申し訳なかったと思います。今年度をどん底と考えれば次年度以降は、退会された福田社長様はじめスタッフの皆様にも少しずつではありますが恩返しができる良い方向へもって行けるかと思えます。新会員の相京さまはじめ担当いただいている川田さん、スタッフの皆様には会場設営、監督として引き続きご配慮・ご協力を心よりお願い申し上げます。

さて、クラブ管理運営については島村委員長にお世話になりました。これほどの中止や変更の多い年度はかつて無かったので、会員への通知のタイミングなどご苦労されたかと思えます。夜間例会、クリスマス家族例会などは今年度に限っては実施困難、もってのほか状態でした。島村委員長の出番と活躍の場は少なかったのですが、アイリスにコロナ感染者が出なかったことは喜ばしいことと安堵しております。

例会の回数が少なかったとはいえ、公共イメージ向上役の藤谷委員長には例会の写真撮影、ウィークリー作成、HP の管理などでお世話になりました。まさに今も来週から始まる新しいクラブ計画書作成に多くの時間を割いていただいております。アイリスは設立当初から事務局がないため藤谷委員長には内向き仕事の大半をお願いしている次第です。よい奉仕活動ができるアイ

リスを目指しますので、もう暫くの間私を含めアイリスのデジタルリテラシーの低さをカバーください。その代わり雑用は何でもこなしますのでなんなりお申し付けください。

奉仕プロジェクトについては反省点がございます。深見委員長に青少年奉仕も社会奉仕も全てお願いしてしまい、動き出してからせめて理事を2名にすべきだったと思いました。おひとりの理事に多くの会合への参加をお願いしたことになりますが、深見委員長は文句ひとつ言うこともなくコロナ禍であっても何度も開催された25RC 社会奉仕にも参加していただきました。また、ローターアクトへの参加もそつなくこなしていただき、例会時にその報告もしていただきました。アイリス以外のクラブや地区がどのような活動をしていたのかがクラブ内に伝わりありがたく感じております。アイリスの会員の中で例会以外の開催事に一番多く出ていただきました。ありがとうございました。

米山記念奨学についてはコロナ禍の中、今年度の奨学生をまだお招きできておりません。落合さんにカウンセラーをお願いしているので、たいへん申し訳ないことに、安心・丸投げ状態といったところではあります。新年度はコロナに阻まれることも少なくなるとしますので、奨学生をお招きできたら会員の皆様におかれましては、お父さん、お母さん、もしくはおじいちゃん、おばあちゃんとして親身にお迎えしてください。アイリスの米山担当理事はご本人が奨学生でもあったボルジド委員長にお願いしておりましたが、アイリスの中でもお仕事が特に打撃を受けた中で活動していただきました。本当にありがとうございました。昨年の7月8月は私の会社もどん底状態でしたが、大変な時期であっても例会に出席している強いボルジドさんを見ていて、こんなことくらいで負けていられないと勇気づけられました。私も若い時に留学経験がありますので異国での生活の不安を人との繋がりでも支えられていたと感じております。奨学生の皆様もきっと孤独だったのではないかと想像しています。コロナ禍でできなかったこと、会って、話して、一緒に食事をして「あなたはひとりじゃないよ」と言って励ましてあげられるクラブでありたいと思えます。

コロナ禍が理由とはいえ積極的な会員増強は行えませんでした。先ずもって例会回数が限られました。例会の出席もアイリスの会員に限るというスタンスでしたのでこれは致し方ないことかもしれません。名誉会員の水野さまに一度お越し頂ける機会があったのですが、「コロナ渦のなかお控えいただけるとうれしいです」とお断りしたこともございました。水野名誉会員さま、ごめんなさい。コロナウイルスの脅威が去れば再スタートできると思えます。

クラブ戦略としてはアイリスの指南役である安井さまに先ずは仕事が第一と言っていただけで心に感謝申し上げます。困難な状況下ふと振り返ると安井さまの姿がある、それだけでほっとしましたし、力を貰えました。次年度も若いクラブの指導と見守りをよろしくお願い致します。一緒に奉仕活動をする前にご自分の商売を優先して会社は大丈夫かと心配する気持ちがアイリスにあったことは、仲間を大切に思う気持ちが表に現れて嬉しかったです。会社が無事であってこそそのロータリ

一であって、会社がたいへんな時に例会に出てきて奉仕活動を優先しろと言う道理はありません。コロナ騒動が収まり経済活動が活気づいてれば、また仲間が集まって皆で納得できる奉仕活動が出来ると信じております。

飲食業を営む伊藤さん、須賀さんもANAホテル同様大変な1年だったと思います。恒例の夜間例会で楽しむことも出来ずに残念でしたが、テイクアウトやお食事券発行などで今年はお許しを願うことになりました。岩崎直前会長にとってもコロナウィルスのまん延は想定外の出来事だったと思いますが、5月末に実施したアイリス初のコンサート例会は参加した会員にとってもストレスフリーとなる癒しのひと時となりました。これは東名古屋分区内の会合で質問が飛び出るなど興味を持って頂けた企画でした。

アイリスの予算については岡本支店長に色々相談させていただきました。例会回数の減少分や、家族会中止で使わなかった余興費など何度も計算を繰り返していただき、今年度は上半期¥75,000、下半期¥100,000にして退会防止策を強化致しました。会費減額の予算を速やかに作成していただいたお陰で会員への通知も即実施出来ましたし、コロナ禍の中での減額実施は東名古屋分区の中でも評価を受けました。例会をやらないなら会費を返せという意見が出された事務局もあったそうです。親睦と奉仕の両立でロータリーは成り立っていますが、日本のロータリークラブはどうしても親睦第一で、懇親ファーストのように感じることもありましたが、今回の騒動ではさすがに集まること自体が禁止されてしまいました。今もまん延防止重点措置期間となっていますし、医療関係者の方々や会社の方針で宴会などへの参加は控えるように指導されています。楽しい例会運営も仲間どうしのコミュニケーションの場として大切なこととは思いますが、今回のコロナ騒動で本当の奉仕活動とは何かを考えさせてくれるよい機会となったように感じます。IMや地区大会への互いの付度による多額な支出についても今後はクラブ内でよく話し合い、地区や他クラブとの連携なども考慮に入れて例会費として頂戴するものをもっと有意義な奉仕活動に向けていっていただけたらと次年度以降に期待しております。綿貫さまには今年度の会計監査をお願いしておりますので、出来上がり次第よろしくお願ひ申し上げます。

アイリスは小さいながらこうして会員ひとりひとりが何かの役割を担い、奉仕団体として良いことをしようと毎週水曜日に集まって食事をして親睦を深めています。週に1度和気あいあいとした空気の中で互いを思いやり元気な姿を確認して語りあい、自分の職業範囲の中で何が出来るかを模索し、奉仕活動の機会に備えています。出席の少ない会員さんであってもピンポイントでお願いしたい奉仕活動はたくさんあります。今年度に限ってはコロナに阻まれクラブとしての社会奉仕活動が出来ないまま終わってしまうのかと思っていましたところ、期限ぎりぎりになって名大小児科から連絡をいただき病棟内の教育支援の品を贈ることが決まりました。以前安井さんの継続的支援こそ重要というお言葉をいただきました。よい機会ですので、漸く名大小児科にはいつ

もアイリスが支援をしていくという初めの一歩が出ればよいと考えております。目録贈呈は次年度の例会中に実施予定ですが、小児科の教授にお越しいただくことによってアイリスの会員への「見える化」と数多ある寄付行為の中で小児科に限定して奉仕することでまずは地域でのアイリスの知名度を上げていくことに繋がると思います。コロナ終息後には顔の見える、汗もかける支援も可能となりますので、出席できない会員さんもメールだけは時々チェックしてアイリスの存在意義を確認していただきたいと思います。このクラブは集まる時はいつも団結して奉仕活動ができることが誇りです。ひとりで出来ることは本当に限られています。自分の所属している業界内では利害関係が生じてなかなかベクトルを同じにして動くことは難しいことです。男性会員と女性会員がほどよく交流して、職業の種類も違う人々の集まりだからこそ、上下関係もないからこそそれぞれの知恵を出し合い、時にはその職業区分の得意とするところを使って自分の出来ることをひとつひとつ繋げていき身近で必要とされる支援を実施することが出来ます。アイリスが出来て8年が経ちました。皆様のおかげで何とか継続してまいりました。次の目標は2023年6月に10周年を笑顔で迎えることが出来ますよう更なるご協力をお願い致します。

#### 菊地エレクトより感謝の花束贈呈



#### 青木会長・荒山幹事 ありがとうございます。



昨年より続くコロナ禍の中で、思うように例会運営が出来ず本当にご苦労されたお二人でした。他クラブでも例会の回数が減り、会員同士、会う機会も少なくなっ

てしまいムードも変化してしまったという声を多く聞きました。そんな中、青木会長の優しいほんわかとした雰囲気や皆が癒されました。また荒山幹事のパワフルな行動力で、このコロナ禍のクラブ運営を進める事が出来ました。青木会長・荒山幹事、本当にありがとうございました。